

令和5年9月15日	
所 属	歴史博物館
所属長	門田 真由美
電 話	06-6489-9801

尼崎市歴史博物館第3回特別展
「尼崎市指定文化財の精華」(前期)
「わがまち誇りの指定文化財写真展」を開催します

1 趣旨

令和2年10月10日に開館した尼崎市立歴史博物館では、毎年秋に、館蔵品とあわせて他都市の博物館や寺院、神社、個人等が所蔵されている関連資料を紹介する特別展を開催しています。今年度は「尼崎市指定文化財の精華」をテーマに、市内の寺社が所蔵されている文化財の出品にご協力をいただいて特別展を開催します。

昭和58(1983)年3月、前年に制定された尼崎市文化財保護条例に基づき、尼崎市内に所在する絹本著色涅槃図等5件の文化財が初めて尼崎市指定文化財に指定されました。以来、毎年のように市指定文化財は指定され続けており、現在では55件にまで増加しています。

本年は、尼崎市指定文化財第1号が指定されてからちょうど40年になります。そこで、これを記念して尼崎市立歴史博物館第3回特別展では、これまで一堂に会することがなかった尼崎市指定文化財について、前期は寺社や民間に所在し普段は目にする機会が少ない市指定文化財を、後期は歴史博物館が所蔵している市指定文化財を展示します。

あわせて、同時開催展として、建造物・石造物等、特別展会場に出展できなかった市指定文化財と、市内にある国・県指定文化財を紹介する写真パネル展を展示学習室で開催します。

2 特別展の概要

(1) 会期・時間・休館日

「尼崎市指定文化財の精華」(前期) 令和5年10月1日(日)～11月30日(木)

「わがまち誇りの指定文化財写真展」 令和5年10月1日(日)～令和6年3月24日(日)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

月曜日休館 ただし、令和5年10月9日(月・祝)は開館し、10日(火)が休館、令和6年1月8日(月・祝)は開館し、9日(火)が休館、令和6年2月12日(月・祝)は開館し、13日(火)が休館

(2) 会場

市立歴史博物館 3階 企画展示室- 「尼崎市指定文化財の精華」

展示学習室- 「わがまち誇りの指定文化財写真展」

所在地：尼崎市南城内10番地の2

(3) 主な展示資料

① 「尼崎市指定文化財の精華」(前期)

- ・毘沙門天立像【白衣観音寺所蔵】
- ・十一面観音菩薩立像【治田寺所蔵】
- ・絹本著色涅槃図【長遠寺所蔵】
- ・流水文銅鐸【本興寺所蔵】
- ・豊臣秀吉木像菊桐紋蒔絵厨子【寶樹院所蔵】
- ・紙本着色浄光寺縁起図【浄光寺所蔵】

- ・本興寺文書 49 点中 10 点【本興寺所蔵】
- ・長遠寺文書【長遠寺所蔵】
全 34 点（展示替え有）



毘沙門天立像【白衣観音寺所蔵】



十一面観音菩薩立像【治田寺所蔵】



流水文銅鐸【本興寺所蔵】



絹本著色涅槃図【長遠寺所蔵】

◎ 「わがまち誇りの指定文化財写真展」

- ・国指定文化財 9 件
- ・県指定文化財 10 件
- ・如来院石造笠塔婆【如来院所蔵】
- ・御園古墳石棺【尼崎市所蔵】
- ・伊佐具神社社号標石【伊佐具神社所蔵】
- ・吉備彦神社本殿【吉備彦神社所蔵】
- ・絹本著色頭如上人画像【光輪寺所蔵】
全約 50 点（すべて写真パネル）

(4) 関連事業(前期)

・特別展記念講演会

令和 5 年 11 月 5 日（日）午後 2 時から「尼崎の仏教美術—指定品を中心に—」をテーマに長谷洋一先生(関西大学文学部教授)による講座を行います。会場は当館 3 階講座室。定員 90 名。10 月 5 日から受付開始。

・水曜歴史講座

令和 5 年 10 月 11 日（水）午後 2 時から「尼崎市の指定文化財」をテーマに学芸員による講座を行います。会場は当館 3 階講座室。定員 90 名。10 月 5 日から受付開始。

・ギャラリートーク

展示会場で担当学芸員が主な展示資料の解説等を行います。前期は、令和 5 年 10 月 7 日（土）・10 月 28 日（土）・11 月 12 日（日）・11 月 18 日（土）の 4 回。時間は午後 2 時から 3 時まで。事前申込不要。

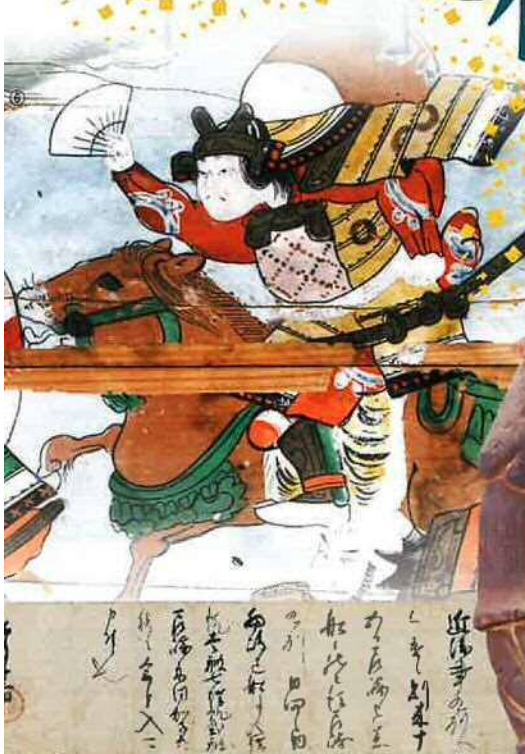
3 担当

歴史博物館 担当学芸員 井上 亮・服部 早希

以 上

第3回特別展

尼崎市指定文化財の 精華



前期 令和5年(2023)

10月1日(日) ▶
11月30日(木)

後期 前期と出展作品は異なります

令和6年(2024) 1月6日(土) ▶ 3月24日(日)

■開館時間 午前9時～午後5時

※入館は午後4時30分まで

■休館日 月曜日

(ただし祝日の場合は開館し、直後の平日が休館)

■会場 尼崎市立歴史博物館 3階
企画展示室

■観覧料金 無料



電車・バス ▶ 「阪神尼崎駅」
南口から南東へ徒歩10分
車 ▶ 玉江橋線開明橋
交差点から東へ約500m
隣接する市立城内駐車場
(有料)をご利用ください



 尼崎市立歴史博物館 
ANAGASAKI CITY MUSEUM OF HISTORY

〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内10番地の2

電話 06-6489-9801

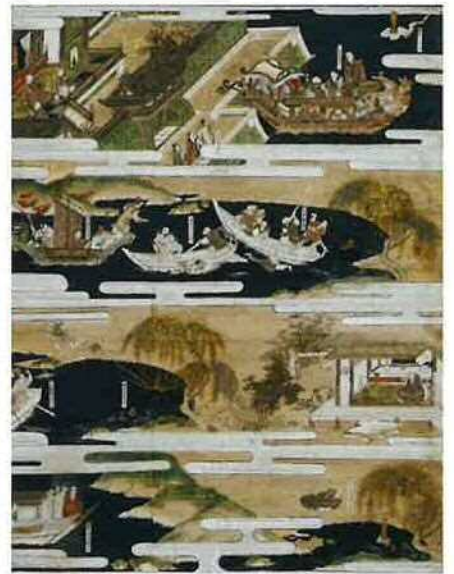
(歴史博物館 文化財担当)

FAX 06-6489-9800



【前期】 ① 毘沙門天立像(白衣観音寺蔵)
② 庭宝頂尼崎城下絵図(費布禰神社蔵)
③ 流水文銅鑪(本興寺蔵) ④ 絹本着色涅槃図(長遠寺蔵)
【後期】 ⑤ 豊巨秀次朱印状(当館蔵)
⑥ 熊谷直実・平教盛園(長洲天満神社給馬)(当館蔵)

尼崎市指定文化財の 精華



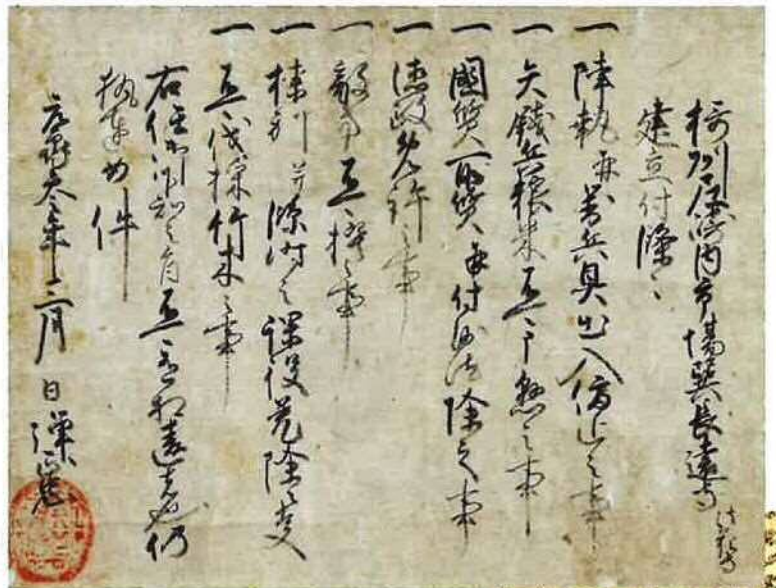
紙本着色浄光寺縁起図(浄光寺蔵)



十一面観音菩薩立像(治田寺蔵)

昭和58(1983)年3月、前年に制定された尼崎市文化財保護条例に基づき、長遠寺所蔵の絹本着色涅槃図等5件の文化財が、同年に新たに設置された尼崎市文化財保護審議会での調査・審議を経て、初めて尼崎市指定文化財に指定されました。以来、毎年のように市指定文化財は増え続け、総数は59件、指定後、兵庫県指定文化財に指定された4件をのぞくと55件にまで増加しています。これら市指定文化財は、市内の寺院・神社や個人のほか、尼崎市が所蔵しており、歴史博物館では市ホームページでその概要を紹介しています。

本年は、尼崎市指定文化財第1号が指定されてからちょうど40年になります。そこで、これを記念して、これまで一堂に会することがなかった市指定文化財について、前期は普段は目にする機会が少ない寺院や神社に所在する文化財、後期は歴史博物館が所蔵している文化財を展示し、尼崎市は豊富な文化財が現存し、長い歴史を有するまちであること広く紹介します。



織田信長禁制(長遠寺文書)(長遠寺蔵)



豊臣秀吉木像菊桐紋時絵厨子(宝樹院蔵)

記念講演会

「尼崎の仏教美術 - 指定品を中心に -」

日 時：11月5日(日) 午後2時～午後3時30分

講 師：長谷 洋一 氏(関西大学文学部教授)

会 場：尼崎市立歴史博物館 3階 講座室

受講料：無料

申 込：10月5日(木)から電話・FAXで受付

定 員：90名(先着順)

ギャラリートーク

日 時：10月7日(土)、10月28日(土)、11月12日(日)、
11月18日(土) 各日午後2時～午後3時

会 場：尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室

参加料：無料 申 込：事前申込み不要

定 員：各20名(先着順)

同時開催

わがまち誇りの指定文化財写真展

期 間：令和5年(2023)10月1日(日)～令和6年(2024)3月24日(日)

会 場：尼崎市立歴史博物館 3階 展示学習室 観覧料金：無料